

在宅生活の支援、在宅医療・介護の連携推進について

五十嵐みさ 議員

質問 24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問サービスへの認識は、状況により対応する。

福祉保健部長 24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスは、利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送れるよう、24時間365日、介護と看護の一体的なサービスを必要なタイミングで受けられるものだ。第6期介護保険事業計画では来年度からのサービス提供を目指しており、適正に運営できる事業者の参入を要請していきたい。このサービスに対応する出入口の設置については、サービス利用者個々



ふっさっ子未来提言について

清水 義朋 議員

質問 ふっさっ子未来会議の提言を踏まえた今年度の計画は。過去の計画の進捗管理についても伺う。

教育長 本市の学校教育改革は、ふっさっ子未来会議の6つの未来提言を具現化したもの。平成26年度は不登校総合対策等5計画を作成し、昨年度から実施している。昨年度は「福生市英語教育推進計画」等3計画を作成し、今年度から実施中。今年度も「福生市立学校の体力向上策」等3計画を策定し、来年度から実施予定。進行管理は既存事業を踏まえ、平成32年度までの計画実施に取り組



▲ふっさっ子未来会議提言書

告示前の選挙運動について

杉山 行男 議員

質問 告示前から立候補予定者の名前をスピーカーで言うのは日常的な状況だが、選挙運動は告示以降でなければ許されないのでは。

選挙管理委員会事務局長 公職選挙法によれば、当該選挙の立候補届出日からでなければ選挙運動はできない。それ以前に選挙運動をすることを禁止している。選挙前に候補予定者名をスピーカー等で宣伝した場合、公職選挙法等で違法性があれば取り締まるのは警察、最終的には司法が判断する。福生市選挙管理委員会は個別事案に答える立場にない。



▲あきい選挙のイメージキャラクター

障害者差別解消法施行での取り組みについて

堀 雄一朗 議員

質問 合理的配慮について、見直しや改善への市の取り組みを問う。

市長 平成15年に耳が不自由なことを示した「耳のシンボルマーク」と「筆談をします」と記したカードを市内公共施設の窓口を設置し、筆談用紙を用意して対応している。手話が必要な方は、手話通訳奉仕員の派遣申請をしてもらい対応している。

福祉保健部長 今後の取り組みについては、障害者とのコミュニケーションを密にすることで、双方の合意のもと配慮が可能になると考える。予算が伴う配慮については、関係機

関と協議しながら進めたい。



▲車いす利用者向け 動画の道案内 (品川区HP)

横田基地内での事業実施について

田村 正秋 議員

質問 青少年海外派遣事業が休止となったが、横田基地で何らかの形で事業計画を図れないか。実施は難しいと考える。

教育長 青少年海外派遣事業については今年度は事業を休止し、来年度からの新事業実施に向けて、安全性を考慮した上で、より多くの生徒が参加できる代替事業の検討を行い、現在情報収集に努めている。横田基地内での事業実施については、数年前、教育委員会において今後の方向性につき意見交換した中で、候補地としてどうかという意見もあったが、軍事施設という性格上、本事業の実



▲青少年海外派遣事業での英会話研修の様子

就学援助について

池田 公三 議員

質問 市では、生活保護基準の少し上の収入がある世帯は就学援助が受けられない。転出への原因になりうるが、改善すべきでは。

教育長 就学援助費と転出との因果関係は特定できないと考える。就学援助費については、教育委員会として今後も全ての世帯に対して、遺漏なく就学援助費の申請書の提出をしていただき、基準に従って支援したい。また、その他の保護者負担軽減措置として、全ての児童・生徒に対し補助教材、あるいは修学旅行費など、他自治体を上回る市独自の補

助を広く行っているところだ。



第66回 福生七夕まつり

8月4日(木)～7日(日)

今年も民踊パレードに参加します
「福が生まれるまち」の七夕まつり

